

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田
科目名	ネットワークリテラシー1	必修・選択	必修
単位数	1単位	授業形態	演習
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HTMLおよびCSSの基礎を学び、基礎的なコーディングができる ・DTPやグラフィックデザインに関する基礎用語などを理解することができる 		
◆概要	前期前半まではHTMLとCSS、コーディングの組み方など基本的な言語について学び、後半にはコーディングの実習およびDTP用語についての基礎学習を進める		
2. 授業内容（週単位で記入）			
第1週	Macのセットアップ		
第2週	Macのセットアップ		
第3週	HTMLの基礎を実習		
第4週	HTMLの基礎を実習		
第5週	HTMLの基礎を実習		
第6週	HTMLにCSSを追加した基礎学習		
第7週	HTMLにCSSを追加した基礎学習		
第8週	HTMLにCSSを追加した基礎学習		
第9週	HTMLにCSSを追加した基礎学習		
第10週	Webページ制作とDTP関連用語の学習		
第11週	Webページ制作とDTP関連用語の学習		
第12週	Webページ制作とDTP関連用語の学習		
第13週	Webページ制作とDTP関連用語の学習		

第14週	Webページ制作とDTP関連用語の学習
第15週	Webページ制作とDTP関連用語の学習
第16週	Webページ制作とDTP関連用語の学習
第17週	指定課題の提出
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの]	
・レジュメ、板書資料、	
[個人で用意するもの]	
・ノートパソコン、配布されたテキスト	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢・欠席や遅刻数に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	実務教養1		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	308	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	DTPに関する基礎的な用語や専門知識を理解し、プリンターやデジタルデータ、ファイル形式、Webカラーの仕組みなどについて説明できる力を身につける。				
◆概要	本授業では、配布するレジュメに沿って、プリンターの基礎知識、デジタルデータの扱い方、ファイルの種類、Webカラーの仕組みなど、DTPの基礎となる内容を学ぶ。制作現場に必要な基本知識を理解し、今後の実習や制作活動に活かせる力を養う。※ただし、企業連携の依頼があった場合には順次対応できる体制を取る。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	Macのセットアップ				
第2週	Macのセットアップ				
第3週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋 Chapter01を学習				
第4週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter01を学習				
第5週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter02を学習				
第6週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter02を学習				
第7週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter03を学習				
第8週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter03を学習				
第9週	中間試験				
第10週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter04を学習				
第11週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter05を学習				
第12週	メディアリテラシー標準テキストより 抜粋Chapter05を学習				
第13週	DTP&印刷の仕組み事典より 抜粋Chapter01を学習				

第14週	DTP&印刷の仕組み事典より 抜粋Chapter02を学習
第15週	DTP&印刷の仕組み事典より 抜粋Chapter03を学習
第16週	DTP&印刷の仕組み事典より 抜粋Chapter04を学習
第17週	DTP&印刷の仕組み事典より 抜粋Chapter05を学習・中間試験
第18週	期末テスト
3. 履修上の注意 特になし	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] 各授業でのレジュメ・スライド資料 [個人で用意するもの] PC、筆記用具、ノートなど	
5. 単位認定評価方法 評価基準:相対評価 納品作品に関する評価65%、授業姿勢・出席に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	ITリテラシー		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	生成AIに関する知識・ルール、使用上の注意を学習し、今後のクリエイター活動に役立てることができるようになる。				
◆概要	AI STUDIO様の教材を下に、以下のスケジュールで学習を進めていく。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	Macセットアップ				
第2週	Macセットアップ				
第3週	学習タイトル「身近なAIを知ろう」				
第4週	学習タイトル「身近なAIを知ろう」				
第5週	学習タイトル「生成系AIを知ろう」				
第6週	学習タイトル「生成系AIを知ろう」				
第7週	予備日				
第8週	中間テスト				
第9週	学習タイトル「AIと著作権」				
第10週	学習タイトル「AIと著作権」				
第11週	予備日				
第12週	学習タイトル「AIでCMづくり」				
第13週	学習タイトル「AIでCMづくり」				

第14週	予備日
第15週	学習タイトル「就活にAIを活用」
第16週	学習タイトル「就活にAIを活用」
第17週	予備日
第18週	期末テスト
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの]	
・レジュメ、板書資料、	
[個人で用意するもの]	
・ノートパソコン、ノートなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:相対評価	
各試験到達度および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科コード	C1
-------	----

学科 〈専攻〉	クリエイティブデザイン		担当者	田中 優子	
科目名	業務演習1		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1年次
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	社会人としての基本を身につけ、外部の方とのコラボ授業や就職活動などに対して反映できるようにする。				
◆概要	社会人のマナーとして、身だしなみの理解や正しい敬語の使い方を基本とし、業務を円滑に進めるための基本的な事ができるようにする。 外部の方とのコラボ授業や就職活動などに活用できるよう基本知識を身につける。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	身だしなみの心がまえ 身だしなみの具体例				
第2週	身だしなみの心がまえ 身だしなみの具体例				
第3週	コミュニケーションの基本				
第4週	話し方・聞き方				
第5週	話し方・聞き方				
第6週	電話応対				
第7週	電話応対				
第8週	中間試験				
第9週	敬語				
第10週	敬語				
第11週	指示・報告・連絡・相談・確認				
第12週	来客応対				
第13週	他社訪問				
第14週	ビジネス文書				
第15週	ビジネス文書				
第16週	ビジネスメール				
第17週	期末試験				
3. 履修上の注意					
筆記用具を持参					
必要に応じてPCを使用					
4. 使用教材(テキスト等)					
入社1年目のビジネスマナー					
プリント教材					
5. 単位認定評価方法					
評価基準: 絶対評価					
中間・期末テスト50%、授業態度・出席状況20%、課題提出等30%					
6. その他					

学科 〈専攻〉	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	色彩・ラッピング1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	18コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	配色の基本、色をもたらす心理的効果、生活の中での色をもたらす効果などを学び、色のコーディネート の仕方や日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。／ラッピングの基礎からアレンジ方法までを学び、テーマに沿ったラッピングができるようになる。				
◆概要	色のはたらきや性質、「色」の表し方や混色理論などの基礎知識、色をもたらす心理的効果、カラーコーディネート の基礎を学ぶ。配色(色の組み合わせ)については、主に「PCCS」(色彩体系の一つ)をもとに学んでいく。／ラッピングの基礎とアレンジの方法を学び、さまざまな形のラッピング技術を習得する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Macのセットアップ作業				
第2週	色のはたらき、光と色(光とは)、光と色(光の性質、眼のしくみ)／ラッピングの基礎				
第3週	光と色(眼のしくみ、照明)／ラッピングの基礎				
第4週	光と色(混色)／ラッピングの基礎				
第5週	色の表示(色の分類と三属性)／ラッピングの基礎				
第6週	色の表示(色の分類と三属性)、当色相面と色立体／ラッピングの基礎				
第7週	色の表示(PCCS)／ラッピングの基礎				
第8週	色の表示(PCCS) PCCSカラーダイヤル作成／ラッピングの基礎				
第9週	中間試験 色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第10週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第11週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第12週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎				
第13週	色彩調和(色相から配色を考える)／ラッピングの基礎				

第14週	色彩調和(色相から配色を考える)／ラッピングのアレンジ
第15週	色彩調和(トーンから配色を考える)／ラッピングのアレンジ
第16週	色彩調和(色相とトーンを組み合わせる)／ラッピングのアレンジ
第17週	色彩調和(配色の基本技法)／ラッピングのアレンジ 配色イメージ
第18週	期末試験

3. 履修上の注意

課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。
授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。

4. 使用教材(テキスト等)

『色彩検定公式テキスト3級編』
12色程度の色鉛筆

5. 単位認定評価方法

評価基準:絶対評価

授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

本授業は1コマ内で2科目を前半・後半に分けて実施する。各回の進行内容に応じて、科目ごとの時間配分が変動する。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー 1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	タッチタイピング、基本的なWindows操作ができる マイクロソフトWordでビジネス文書の作成ができる 各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「ワープロ検定」に合格する				
◆概要	ワープロ検定の問題を解きながら、Windows操作、Wordによる文書作成を習得する。10月に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	パソコンおよびWindowsの基本操作およびWiFi・プリンター等の設定確認、習熟度調査 タッチタイピングの基本および日本語文章入力				
第2週	タッチタイピングの基本および日本語文章入力 Windows、Wordの基本操作				
第3週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定3級程度の問題解法				
第4週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準2級程度の問題解法(複雑な表)				
第5週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定2級程度の問題解法(インデント・きりとり線)				
第6週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第7週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第8週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第9週	中間試験 ワープロ検定準2級程度の問題				
第10週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準1級程度の問題解法				
第11週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準1級程度の問題解法(図形描画)				
第12週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定1級程度の問題解法(図形描画)				
第13週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習				
第14週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習				

第15週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第16週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第17週	期末試験 (習熟度に応じた級別)
3. 履修上の注意	
<p>課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
4. 使用教材（テキスト等）	
検定過去問題のプリントなど	
5. 単位認定評価方法	
<p>評価基準：絶対評価 授業態度 20%、中間・期末試験 50%、課題・小テスト 30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
6. その他	
<p>校内共有パソコンを使用するため、パソコン内にデータを保存することができない。 各自USBメモリを用意してください。</p>	

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	高橋（瑞）	
科目名	デザイン史概論		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	産業革命からミッドセンチュリーまでの主要なデザイン運動及び戦後のグラフィックを中心とした日本デザイン史、地域史としての松本クラフトまでデザイン史における概観をさらい、用語・デザイン形態・思想を理解する。またそれらの知識を活かして社会や実生活に溢れている様々なデザインに目を向けることで、洞察力や観察力を養う。				
◆概要	産業革命以降のデザイン史を講義を中心に学ぶ。また、松本という地域性を活かし、北欧デザインや民藝運動、松本クラフト・松本民芸家具など、生活文化に根ざしたデザインも扱う。座学だけでなく簡単なレポートやミニワークも取り入れ、初めてデザイン史引いては美術史に触れる、もしくは歴史に触れるという学生にもデザイン史が身近にあることを肌で感じ取り、積極的に見聞を広げるような姿勢を授業全体を通して促す。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	導入「デザイン史とは何か」 北欧デザインと松本クラフトの比較から考えるデザイン史				
第2週	世界史のおさらい／中世～近代ヨーロッパ史				
第3週	産業革命とロンドン万博、ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ ミニワーク①植物モチーフの図案制作				
第4週	アール・ヌーヴォーとアルフォンス・ミュシャ、エミール・ガレ(1) 植物と有機的曲線／ミュシャ作品と少女漫画				
第5週	アール・ヌーヴォーとアルフォンス・ミュシャ、エミール・ガレ(2) ミニワーク②ミュシャの曲線美の模写				
第6週	アール・デコとルネ・ラリック他 幾何学・直線・流線型				
第7週	バウハウス(1)バウハウスと建築 バウハウスとは／グロピウス、ミース、ロイド、コルビュジエ				
第8週	中間試験				
第9週	バウハウス(2)バウハウスの教育とデザイン イッテン、モホイ＝ナジ、バウハウスのデザイン				
第10週	戦中デザイン 流線型とモビリティ、デ・ステイルからディック・ブルーナへ				
第11週	ミッドセンチュリー(1) 各国のインダストリアル・デザイン、ポップカルチャーとグラフィック				
第12週	ミッドセンチュリー(2) スパイ・ファミリー単行本の表紙から見るデザイナーズチェア				
第13週	日本デザイン史(1) 民藝運動と松本クラフト・松本民芸家具、上田の農民美術運動				

第14週	日本デザイン史(2) 亀倉雄策・東京オリンピック 夏季休暇中課題: 私の推しデザインレポート
第15週	日本デザイン史(3) 田中一光・ピクトグラム ミニワーク③オリジナルピクトグラム制作
第16週	まとめ・総復習 「私の推しデザイン」レポート発表
第17週	期末試験
第18週	
3. 履修上の注意 様々な人名や用語が出てくるが、デザインを学ぶ上で身につけるべき最低限の知識としてきちんと覚えること。 授業中に行うミニワークや小テスト、課外で出すレポートなどの課題も成績評価対象とする。 授業態度によってはテストの出来に関わらずD評価対象とする。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] 「カラー版図説 デザインの歴史」学芸出版社 [個人で用意するもの] 筆記具、ノートなど。	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 絶対評価 中間及び期末試験の出来栄え評価60%、提出物の評価40% 場合によっては授業態度も重視する。	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	高橋	
科目名	アナログ技法1		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	302教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	デジタルの時代となっても、手で描く・造るという作業は非常に重要な造形の基礎である。ここでは今一度造形の基礎に立ち返り、様々な技法・表現方法を実践していく中で今後の自身の造形活動に活かせるよう、アナログ技法を用いた作品制作を行う。前期の授業ではデッサンの基礎や理論を学び、ありとあらゆる造形の基礎を身につける。				
◆概要	デッサンに必要な「観察力」「技術力」「物の本質を見抜く力」を身につけられるよう基本のデッサンを行う。鉛筆の削り方から始め、クロスハッチングによるグラデーション練習などを行い、鉛筆デッサンにおける基礎を身に付ける。基礎形態のデッサンや理論を学び、また質感の異なるデッサンを行うことで基礎力を高めていく。最終的にはモチーフをいくつか組み合わせた静物デッサンを行い、前期のまとめとする。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	デッサン導入「デッサンとは何か?」/道具の確認/クロスハッチング				
第2週	クロスハッチングによるグラデーション練習				
第3週	テーマを持った手のデッサン				
第4週	球体のデッサン(1)りんご・ボール				
第5週	球体のデッサン(2)りんご・ボール/完成				
第6週	透視図法				
第7週	角柱のデッサン(1)				
第8週	角柱のデッサン(2)/完成				
第9週	円柱のデッサン(1)				
第10週	円柱のデッサン(2)/完成				
第11週	様々な素材のデッサン(1)軍手・布				
第12週	様々な素材のデッサン(2)野菜				
第13週	様々な素材のデッサン(3)トイレトペーパー				

第14週	様々な素材のデッサン(4)石・ガラス
第15週	モチーフの組み合わせ(1)円柱・角柱・球体
第16週	モチーフの組み合わせ(2)円柱・角柱・球体
第17週	モチーフの組み合わせ(3)円柱・角柱・球体／完成・提出
第18週	
3. 履修上の注意 通常授業に加え、休暇ごとに課題を出す。非常に課題の数が多いが、デッサンは量をこなす必要があることを肝に銘じて真剣に取り組むこと。また、この授業は造形の基礎であるとともに、観察力と集中力の持続を要する。根気のいる作業が続くが、絵の得意不得意に関わらず、真摯で丁寧な取り組みを求めらる。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] スケッチブック(F4)、鉛筆(H、HB、2B、4B、8B)、ミリペン、練りゴム、クロッキー帳 [個人で用意するもの] 都度指示する。	
5. 単位認定評価方法 評価基準:絶対評価 制作物提出及び課題に関する評価50%、出欠席及び授業姿勢に関する評価50% 場合によっては授業態度をより重視する。	
6. その他 	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	中村	
科目名	撮影編集技法1		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	302	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ操作の基本をマスターする ・完成形をイメージし、構図、光を意識した撮影ができるようになる ・フォトマスター検定3級合格程度の知識を身に付ける 				
◆概要	<p>デジタルカメラやスマートフォンの高性能化、SNSの普及などで、写真がより身近なものになってきました。趣味だけでなく、さまざまな業種において情報発信などのツールとして、写真の重要性は年々高まってきています。</p> <p>ただし写真の基本はフィルムカメラ時代から受け継がれてきた技術がベースとなっています。</p> <p>この科目を通して、カメラ操作および撮影の基本を学習し、思い描いたイメージ通りの写真を撮れるようになることを目指します。</p>				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	自己紹介、カメラを使った仕事について				
第2週	一眼レフカメラの基本操作について				
第3週	撮影実習				
第4週	撮影実習講評				
第5週	カメラ操作				
第6週	カメラ操作				
第7週	カメラ操作				
第8週	カメラ操作				
第9週	カメラ操作				
第10週	カメラ操作				
第11週	テーマ撮影実習				
第12週	テーマ撮影実習				

第13週	テーマ撮影実習
第14週	撮影実習
第15週	写真講評(前回、および夏季休暇中に撮った写真を使って講評を行う)
第16週	テーマ撮影実習
第17週	まとめ
第18週	
3. 履修上の注意 ・カメラは個人で保有している人は持参してもらおう。ない場合は学校のカメラ機材を使用し、不足分についてはお互い融通しながら使う。 ・課題によってはプリントした写真も使う。写真プリントの費用は各自負担となる。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] プロジェクター、ノートPC、カードリーダー [個人で用意するもの] レンズ交換式カメラ(あれば)	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他 学生の理解度等によって授業内容は変更になる場合がある。 講師について: 安曇野市で写真館「ワイルドベリーフォト」を運営しながら現場第一線で活動。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田／溝口
科目名	アート・デザイン概論	必修・選択	必修
単位数	2単位	授業形態	講義・演習
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室
企業連携科目	なし	実務経験のある教員等による授業科目	○
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	クリエイティブの基礎となる文字・色・言葉について、講義と演習を交えて学習し、状況にあった文字選び、色選び、言葉の作り方、ビジュアル表現の習得を目指します。 前期修了作品:オリジナル欧文フォント制作		
◆概要	アートと違いデザインは職能です。ルールを守り適切な答えを導き出すことで、様々な問題を解決することが出来ます。この科目では問題解決のための基礎となる知識や、後期から行うDTPの際に必要なバランス感覚を養うための基礎トレーニングを繰り返し行います。		
2. 授業内容 (週単位で記入)			
第1週	職業講話 Macセットアップ		
第2週	色のイメージ効果① プロフィールカラーージュ		
第3週	色のイメージ効果②・色彩基礎 プロフィールカラーージュ		
第4週	色相環 書体基礎①		
第5週	色相環+COLORS IMAGES 和文フォント+フォントで名刺ws		
第6週	COLORS IMAGES フォントで名刺ws		
第7週	COLORS IMAGES+色設計 フォントで名刺ws		
第8週	色設計 書体基礎②導入・Trajan		
第9週	キャッチコピー 書体基礎③ローマン体		
第10週	キャッチコピー 書体基礎④銅板・手描き風・ブラックレター		
第11週	キャッチコピー 書体基礎⑤ゴシック・フォント名テスト・書体基礎⑥変わり種書体 オリジナル欧文書体考案		
第12週	キャッチコピー オリジナル欧文書体考案		
第13週	オリジナル欧文書体考案・決定		

第14週	オリジナル欧文トレス
第15週	オリジナル欧文トレス
第16週	オリジナル欧文トレス
第17週	オリジナル欧文トレス提出
3. 履修上の注意 コラージュ用素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] ・作品台紙用ケント紙 ・CMYW+Kアクリル絵の具 ・名刺WS用紙 ・オリジナル欧文フォント用紙(はがきサイズ) [個人で用意するもの] ・ノートパソコン ・コラージュ素材(雑誌・新聞・フリーペーパー・他) ・絵の具セット(筆や筆洗いなど小中高で使用したものでも可) ・サインペン(黒 太め・細め) ・定規	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他 デザイン事務所でざいんと(http://designto.info/)代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	関・栗田	
科目名	デザインツール		必修・選択	選択必修	
単位数	4単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	70コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	Adobeアプリケーション(主にIllustratorとPhotoshop、PremierとAfter Effects)の基本操作を学び、主軸科目については、Illustratorクリエイター能力認定試験とPhotoshopクリエイター能力認定試験の検定合格を目指す。				
◆概要	毎週火・水・金曜日)テキストや検定過去問題をもとにそれぞれのアプリの基本操作を学ぶ。基本操作を習得後は検定対策を行う。 毎週火曜日)映像系のアプリケーションの操作を学び、作品1つを仕上げる。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Macのセットアップ作業				
第2週	Illustrator 基本操作 動画作品の紹介とプレゼン				
第3週	Illustrator 図形描画・文字入力 Premier基礎				
第4週	Illustrator 図形描画・文字入力、アレンジ Premier基礎				
第5週	Illustrator 図形・文字のアレンジ、新機能 Premier基礎／作品制作				
第6週	Illustrator 検定対策 Premier基礎／作品制作				
第7週	Illustrator 検定対策 Premier基礎／作品制作				
第8週	Illustrator 検定対策 Premier基礎／作品制作				
第9週	Illustratorクリエイター能力認定試験 受験 Premier基礎／作品制作				
第10週	photoshop 基本操作 After Effects基礎・素材制作				
第11週	photoshop 写真補正の基本 After Effects基礎・素材制作				
第12週	photoshop 写真補正の応用 After Effects基礎・素材制作				
第13週	photoshop テキストやオブジェクトの加工・写真や文字の合成・新機能 After Effects基礎・素材制作				

第14週	photoshop 検定対策 After Effects基礎・素材制作
第15週	photoshop 検定対策 作品制作
第16週	photoshop 検定対策 作品制作
第17週	photoshop 検定対策 作品制作
第18週	Photoshopクリエイター能力認定試験 受験 作品制作
3. 履修上の注意	
<p>課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
4. 使用教材（テキスト等）	
<p>配布するテキストおよびレジュメとする</p>	
5. 単位認定評価方法	
<p>評価基準：絶対評価 授業態度 20%、III検定合格 30%、Photo検定合格 30%、課題 20% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
6. その他	
<p></p>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	小林千尋
科目名	キャリアプランニング2	必修・選択	選択必修
単位数	1単位	授業形態	講義
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内普通教室
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	就職活動において一步を踏み出すことが出来るように。		
◆概要	希望する業種・職種への就職と言うゴールを目指す。効果的で適正な就職活動を行うべく実務的な準備(履歴書作成、志望動機・自己PRの作成など)と、広い意味でのキャリア教育(職業観、ライフワークバランス、仕事と法律など)を学び、一緒に考える。		
2. 授業内容 (週単位で記入)			
第1週	一般教養／時事問題 ①		
第2週	一般教養／時事問題 ②		
第3週	ナビ求人活用の活用とナビ登録		
第4週	SPI		
第5週	SPI		
第6週	ビジネスマナー① (メラビアン法則、お辞儀、立ち居振る舞いなど)		
第7週	ビジネスマナー② (面接、入退室など)		
第8週	中間テスト		
第9週	面接／電話対応① (面接と電話対応について、注意事項)		
第10週	面接／電話対応② (面接でよく聞かれること、注意事項)		
第11週	面接／電話対応③ (グループで実践)		
第12週	就活用写真撮影		
第13週	就職ラリー対策①		
第14週	就職ラリー対策②		
第15週	企業リサーチと求人票の見方		
第16週	就活手帳の活用方法、送付状作成、封筒の宛名書き		
第17週	期末テスト(求職票の作成)		
3. 履修上の注意			
筆記用具を持参			
4. 使用教材(テキスト等)			
プリント教材			
5. 単位認定評価方法			
評価基準: 絶対評価			
中間・期末テスト、授業態度、出席状況、課題提出・内容			
6. その他			

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	色彩・ラッピング2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	2
総授業数(予定)	18コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	配色の基本、色をもたらす心理的効果、生活の中での色をもたらす効果などを学び、色のコーディネートの方や日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。 ／テーマに合うボトル、立方体、直方体の3種のラッピングの方法と調和を考え、ラッピングする。				
◆概要	色のはたらきや性質、「色」の表し方や混色理論などの基礎知識、色をもたらす心理的効果、カラーコーディネート基礎を学ぶ。配色(色の組み合わせ)については、主に「PCCS」(色彩体系の一つ)をもとに学んでいく。検定合格に向けて、過去問題を中心に問題演習に多く取り組む。／テーマに沿った包装紙・リボン・オーナメント、ラッピングの方法を考え形にする。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	ファッションと色彩				
第2週	ファッションと色彩				
第3週	インテリアと色彩・色名 過去問解答・解説				
第4週	過去問解答・解説				
第5週	過去問解答・解説				
第6週	過去問解答・解説				
第7週	過去問解答・解説 期末試験				
第8週	本試験答え合わせと解答解説				
第9週	期末課題(ラッピング)				
第10週	期末課題(ラッピング)				
第11週	期末課題(ラッピング)				
第12週	期末課題(ラッピング)				

第13週	期末課題(ラッピング)
第14週	期末課題(ラッピング)
第15週	期末課題(ラッピング)
第16週	期末課題(ラッピング)
第17週	期末課題(ラッピング)
第18週	期末課題(ラッピング)
3. 履修上の注意	
<p>課題が期日までに提出できない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
4. 使用教材 (テキスト等)	
『A・F・T色彩検定公式テキスト3級編』 12色程度の色鉛筆	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。 期末試験の得点が低くD評価だった場合、本試験合格で単位認定する。	
6. その他	
色彩検定11/8 (日)	

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科	担当者	栗田
科目名	ネットワークリテラシー2	必修・選択	必修
単位数	1単位	授業形態	演習
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	前期の学習内容の振り返りを含めWebデザインからコーディングまでの作業を一人でこなすことができる		
◆概要	既成のデザインを元に、新しく各自で考案したWebデザイン設計を目標に、コーディングや各種動画・アニメーションの組み込み、またはGoogleフォームや生成AIを活用したウェブサイトの構築を学ぶ		
2. 授業内容（週単位で記入）			
第1週	前期の復習をテキストを元を実施		
第2週	前期の復習をテキストを元を実施		
第3週	前期の復習をテキストを元を実施		
第4週	前期の復習をテキストを元を実施		
第5週	規定の課題に取り組み、制作完成まで到達すること		
第6週	規定の課題に取り組み、制作完成まで到達すること		
第7週	課題提出		
第8週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする		
第9週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする		
第10週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする		
第11週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする		
第12週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする		
第13週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする		

第14週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする
第15週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする
第16週	オリジナル設計のウェブサイトデザイン・設計し、コーディング作業をする
第17週	指定課題の提出
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの]	
・レジュメ、板書資料、	
[個人で用意するもの]	
・ノートパソコン、配布されたテキスト	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢・欠席や遅刻数に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	関	
科目名	デザインツール応用		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	IllustratorおよびPhotoshopの上位級の検定取得を目指す(自由受験・任意)。別途IllustratorやPhotoshopの応用として、アピアランス機能を活かしたオブジェクトの制作や、Lightroomなども利用した画像補正の技術を習得する				
◆概要	Illustratorでは、アピアランス機能や効果、パス編集などを活用したオブジェクト制作に取り組み、表現の幅を広げる。Photoshopでは、画像補正、合成、レタッチなどの技術を応用し、目的に応じた画像加工ができる力を養う。また、Lightroomなどの関連ソフトも使い、写真の色調や質感を整える実務的な技術を習得する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:デザインのドリル、イラレの5分ドリルなど				
第2週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:デザインのドリル、イラレの5分ドリルなど				
第3週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:デザインのドリル、イラレの5分ドリルなど				
第4週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:デザインのドリル、イラレの5分ドリルなど				
第5週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:デザインのドリル、イラレの5分ドリルなど				
第6週	指定課題の制作・提出				
第7週	指定課題の制作・提出				
第8週	指定課題の制作・提出				
第9週	指定課題の提出				
第10週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:フォトショの5分ドリルなど				
第11週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:フォトショの5分ドリルなど				
第12週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:フォトショの5分ドリルなど				
第13週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:フォトショの5分ドリルなど				

第14週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:フォトショの5分ドリルなど
第15週	参考テキストの内容を実施する。※参考書籍:フォトショの5分ドリルなど
第16週	指定課題の制作・提出
第17週	指定課題の制作・提出
第18週	指定課題の制作・提出
3. 履修上の注意	
<p>課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
4. 使用教材（テキスト等）	
配布するテキストおよびレジュメとする	
5. 単位認定評価方法	
<p>評価基準:絶対評価 授業態度20%、III検定合格30%、Photo検定合格30%、課題20% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水	
科目名	情報リテラシー 2		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	マイクロソフトExcelでビジネス資料の作成ができる 各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「情報処理検定(表計算)」に合格する				
◆概要	表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式の入力、グラフ作成等について習得する。2月(次年度7月)に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Excel基本操作				
第2週	関数を使った計算式				
第3週	関数を使った計算式、グラフ				
第4週	表計算検定3級の問題解法 問題演習				
第5週	問題演習				
第6週	問題演習				
第7週	表計算検定2級の問題解法				
第8週	問題演習				
第9週	中間試験 表計算検定2級程度の問題				
第10週	問題演習				
第11週	表計算検定1級の問題解法				
第12週	各級問題演習				
第13週	各級問題演習				

第14週	各級問題演習
第15週	各級問題演習
第16週	各級問題演習
第17週	検定受験(期末試験)
3. 履修上の注意	
<p>課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
4. 使用教材 (テキスト等)	
<p>検定過去問題のプリントなど</p>	
5. 単位認定評価方法	
<p>評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
6. その他	
<p>校内共有パソコンを使用するため、パソコン内にデータを保存することができない。 各自USBメモリを用意してください。</p>	

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	高橋	
科目名	アナログ技法2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	デジタルの時代となっても、手で描く・造るという作業は非常に重要な造形の基礎である。ここでは今一度造形の基礎に立ち返り、様々な技法・表現方法を実践していく中で今後の自身の造形活動に活かせるよう、アナログ技法を用いた作品制作を行う。後期の授業では様々なアナログ技法の実践を行い、今後の作品制作に取り入れられるようアイデアや技術を習得する。				
◆概要	ほぼ毎回、異なる技法を実践する。点描やゼンタングルなど机の上で緻密に描くものから、モダンテクニックなど偶然性を楽しむ技法までありとあらゆる技法を試す。期末課題としてエリック・カールの絵本「はらぺこあおむし」で使用されている技法を紹介し、今まで実践してきた技法を用いたコラージュ作品を制作することで1年間のまとめとする。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	点描(1)				
第2週	点描(2)／完成・提出				
第3週	ゼンタングル(1)				
第4週	ゼンタングル(2)／完成・提出				
第5週	スクラッチ技法(1)				
第6週	スクラッチ技法(2)／完成・提出				
第7週	版画(1)				
第8週	版画(2)				
第9週	版画(3)／完成・提出				
第10週	モダンテクニック(1)スタンピング・スパッタリング・マーブリング・バチック・デカルコマニー				
第11週	モダンテクニック(2)スタンピング・スパッタリング・マーブリング・バチック・デカルコマニー				
第12週	モダンテクニック(3)スタンピング・スパッタリング・マーブリング・バチック・デカルコマニー／完成・提出				

第13週	マスキング技法／完成・提出
第14週	折り染め／完成・提出
第15週	エリック・カールの技法(コラージュ)を元にした作品制作(1)
第16週	エリック・カールの技法(コラージュ)を元にした作品制作(2)
第17週	エリック・カールの技法(コラージュ)を元にした作品制作(3)／完成・提出
第18週	
3. 履修上の注意 技法によっては非常に汚れる作業となるため、教室の清掃は毎回必ずきちんと行うこと。 また、ジャージ・エプロンなど汚れても良い服装で授業を受けることが望ましい。 刃物を扱う技法もあるので、怪我にはよく気をつけること。	
4. 使用教材(テキスト等) ミリペン・クロッキー帳、鉛筆 他、その都度連絡をするので指示をよく聞くこと。	
5. 単位認定評価方法 評価基準:絶対評価 制作物提出及び課題に関する評価50%、出欠席及び授業姿勢に関する評価50% 場合によっては授業態度をより重視する。	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	関	
科目名	プロフェッショナル		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	外部講師としてプロの技術者の方から現場の話を聞くことにより、見聞を広める。なお、講師の都合により別途他の授業の課題制作の時間に当てることとする。				
◆概要	県内の業界第一線で活躍されるプロの方を非常勤講師でお招きし、こだわり・信念・どうやって仕事にしているかなどを直接講義、演習いただく				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	課題制作				
第2週	課題制作				
第3週	中野霞 様(俳句制作)				
第4週	中野霞 様(俳句制作)				
第5週	中野霞 様(俳句制作)				
第6週	中野霞 様(俳句制作)				
第7週	中野霞 様(俳句制作)				
第8週	中野霞 様(俳句制作)				
第9週	中間試験週				
第10週	藤原印刷様(インクについて)				
第11週	藤原印刷様(会社について)				
第12週	藤原印刷様(画像補正について)				
第13週	藤原印刷様(製本について)				

第14週	課題制作
第15週	課題制作
第16週	課題制作
第17週	課題制作
第18週	
3. 履修上の注意	
プロの講師の方は都度、変更の可能性がある。	
4. 使用教材（テキスト等）	
特になし	
5. 単位認定評価方法	
評価基準：絶対評価	
授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%	
ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
期末試験の得点が低くD評価だった場合、本試験合格で単位認定する。	
6. その他	
藤原印刷：松本市内の印刷会社。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	修了制作1		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	11月の学校公開日に向け、地域の小学生が楽しめるイベント企画・制作・運営に取り組む。学生自らがミーティングを行い、企画内容を検討し、必要な制作物や運営方法を具体化する。昨年度実施した謎解きイベントのように、来場者が参加しやすく、学校公開日の雰囲気合った体験型企画を目指す。				
◆概要	授業では、アイデア出し、役割分担、制作物の準備、当日の導線や運営方法の確認を行い、企画を実施可能な形に整える。地域の子どもたちに楽しんでもらうことを意識しながら、チームで協力して一つのイベントを作り上げる力を養う。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	学校公開日 企画提案				
第2週	学校公開日展示物制作				
第3週	学校公開日展示物制作				
第4週	学校公開日展示物制作				
第5週	学校公開日展示物制作				
第6週	学校公開日展示物制作				
第7週	学校公開日展示物制作				
第8週	学校公開日展示準備				
	…修了制作2に切り替え				

3. 履修上の注意	
期限を守り、実際店頭に並ぶ製品の販売であることを意識した制作とすること。	
4. 使用教材（テキスト等）	
授業内で配布するレジュメなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	修了制作2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	自校の屋上で養蜂し採取したはちみつを題材に、実際に地元施設で販売される商品のオリジナルラベル制作に取り組む。制作にあたっては、地元らしさや地域とのつながりを意識しながら、国産はちみつとしての希少性や品質感が伝わるデザインを目指す。				
◆概要	授業では、商品の特徴や販売場所、購入者層を想定し、色彩・文字・モチーフ・レイアウトを検討する。単なる装飾ではなく、商品の魅力を伝え、手に取りたいと思わせる高級感のあるラベル表現を学ぶ。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	キックオフ授業 企業の方より要望などをヒアリング予定				
第2週	企画・制作				
第3週	制作				
第4週	中間審査会：制作したラベルのラフを元にヒアリング				
第5週	本制作				
第6週	本制作				
第7週	本制作				
第8週	修了制作展にて 試作品を展示 企業の方に確認いただく				
第9週					
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					

第14週	
第15週	
第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
企業からの説明会で指定されたレギュレーションを遵守し、商品化されることを念頭に制作すること	
4. 使用教材（テキスト等）	
授業内で配布するレジュメなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科コード	C1
-------	----

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィックデザイナー専攻		担当者	溝口	
科目名	広告表現		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	広告デザイン制作習得 写真撮影基礎習得 前期修了作品:簡易パンフレット				
◆概要	一冊の簡易パンフレット制作を通して、広告制作の流れを学びます。 表紙グラフィック、A4・2/3・1/3広告、目次、自由レイアウト、地図作成、段組みレイアウト、写真素材撮影など、DTP広告制作に必要な技術を後期を通して習得します。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	授業説明・考察・ラフ制作				
第2週	ラフ制作				
第3週	ラフ制作				
第4週	ラフ制作				
第5週	外部講師写真撮影				
第6週	外部講師写真撮影				
第7週	外部講師写真撮影				
第8週	外部講師写真撮影				
第9週	デザイン制作				
第10週	デザイン制作				
第11週	デザイン制作				
第12週	デザイン制作				
第13週	デザイン制作				

第14週	デザイン制作
第15週	デザイン制作
第16週	デザイン制作
第17週	デザイン制作
第18週	デザイン制作
3. 履修上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告制作に関する素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 ・ 広告制作に関する費用は各自負担となる。 ・ アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。 	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの]	
<ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット用紙 ・ カメラ等撮影機材 	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと (http://designto.info/) 代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 コミックイラストレーター専攻	担当者	高橋
科目名	カラーイラスト演習	必修・選択	必修
単位数	2単位	授業形態	演習
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	イラストレーションの基礎としてカラー画材の技術習得は必要不可欠なものとなる。画力向上の基礎練習を行いつつ、色鉛筆・水彩絵の具・コピック等身近にあるアナログ画材を使ってのイラスト演習を進め、画材を使用したイラストの表現力・技術力(タッチ、陰影、立体感等)を高める。		
◆概要	画力の基礎的な技術習得を目指すため授業の開始10分程度は毎回必ず人物クロッキーを行う。人物表現・背景表現の練習やタッチの練習等をカラー画材を用いて段階的に行っていく。中間課題では指定のストーリーに沿ったシーンのイラスト表現を行い、最終課題では各自でコンセプトを設定した上でイラスト制作を行い、それをを用いたグッズの作成を行う。		
2. 授業内容 (週単位で記入)			
第1週	クロッキー(以降毎回)／各画材の特性と適する用紙・道具について／各自使用画材の確認 基礎練習:カラー基本(画材を用いてのタッチとグラデーションの練習)		
第2週	基礎練習:カラー基本(カラーパレット制作)		
第3週	基礎練習:カラー基本(カラーパレットを元にした配色練習／講評)		
第4週	基礎練習:カラー基本(カラー画材での描画練習)		
第5週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作		
第6週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作		
第7週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作		
第8週	中間課題:指定ストーリーのカラーイラスト制作／提出・講評		
第9週	基礎練習:人物表現・背景表現		
第10週	基礎練習:人物表現・背景表現		
第11週	基礎練習:人物表現・背景表現		
第12週	基礎練習:人物表現・背景表現		

第13週	基礎練習:人物表現・背景表現
第14週	最終課題:個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作
第15週	最終課題:個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作
第16週	最終課題:個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作
第17週	最終課題:個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作／講評・提出
第18週	
3. 履修上の注意	
<p>アナログ画材の使用を基本とするが、中間課題及び期末課題についてはデジタル画材でも可とする。使用画材は各自で準備することが望ましい。普段より使用している画材があればそれで構わない。使用画材に関しては授業初回に個別での相談に応じる他、授業を進めていく中でも別途応じていく。</p>	
4. 使用教材(テキスト等)	
<p>クロッキー帳・ミリペン アナログ画材(各自持ち寄り／色鉛筆・水彩絵の具・コピック等／色鉛筆なら24色以上が望ましい) 他必要な画材(用紙等)、プリント類は講師より随時配布する</p>	
5. 単位認定評価方法	
<p>評価基準:絶対評価 制作物提出および課題に関する評価70%、出欠席に関する評価15%、授業姿勢に関する評価15%</p>	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	渡部
科目名	映像制作実習		必修・選択	必修
単位数	1単位	授業形態	演習	年次 1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	302	前・後期 後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要				
◆到達目標	動画撮影に必要な基礎機材の取扱方法を理解し、映像表現の基本および構成・絵コンテ作成の基礎を身につけ、意図の伝わる映像制作ができる力を養う。			
◆概要	動画撮影に関する基礎的な知識および技術を修得し、各種撮影機材を適切に運用することができる。加えて、構図・画角・アングル・カメラワーク等の映像表現の基本を理解し、目的に応じた構成や絵コンテを踏まえた撮影計画を立案し、意図を明確にした映像制作を行うための基礎的能力を身につけることができる。			
2. 授業内容 (週単位で記入)				
第1週	自己紹介、動画の仕事について、授業の目的、進め方、評価方法の説明 映像制作の流れを理解する: 動画表現の特徴や役割について学ぶ			
第2週	撮影機材の基礎知識: カメラ、レンズ、三脚、マイク、照明などの基本機材について学ぶ/それぞれの用途や安全な取り扱いを理解する			
第3週	カメラ操作の基礎: ピント、露出、ホワイトバランスなどの基本操作を学ぶ/手ブレを防ぐための撮影姿勢や扱い方を理解する			
第4週	構図と画角の基礎: 日の丸構図、三分割構図などの基本構図を学ぶ/ロング、ミドル、アップなど画角による印象の違いを理解する			
第5週	アングルとカメラワークの基礎: ハイアングル、ローアングル、アイレベルの特徴を学ぶ/パン、チルト、固定撮影など基本的なカメラワークを理解する			
第6週	音声と照明の基礎: 映像における音の重要性を学ぶ/マイクの使い方や雑音への配慮、自然光や照明の基本を理解する			
第7週	映像構成の基礎: 動画の導入・展開・まとめの考え方を学ぶ/伝えたい内容を整理し、構成として組み立てる方法を理解する			
第8週	絵コンテ制作の基礎: 絵コンテの役割と基本的な描き方を学ぶ/カット割りや場面構成を考え、企画準備につなげる【絵コンテの提出(中間課題)】			
第9週	作品企画立案: 制作する動画作品のテーマ設定を行う/誰に、何を、どのように伝えるかを整理し、企画を立てる			
第10週	企画内容の具体化: 作品の目的、ターゲット、表現方法を明確にする/構成案や内容の方向性を深める			
第11週	絵コンテ・台本制作: 企画内容をもとに絵コンテや簡単な台本を作成する/必要なカットや演出を整理する			
第12週	撮影準備: ロケーション確認、役割分担、必要機材の整理を行う/撮影スケジュールを立て、制作準備を整える			

第13週	作品制作1
第14週	作品制作2
第15週	作品制作3
第16週	作品制作4
第17週	発表・作品回収
第18週	まとめ
3. 履修上の注意 ・カメラは個人で所有している人は持参してもらう。ない場合は学校のカメラ機材を使用し、不足分についてはお互い融通しながら使う。 ・撮影で発生する費用は基本的に自己負担とするが、一度科目担当または学科長(栗田)へ相談すること。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] プロジェクター、ノートPC、カードリーダー [個人で用意するもの] レンズ交換式カメラ(あれば) メモリーカード(SDカード) PC(Adobe Lightroom Classic / Photoshop インストールされたもの)	
5. 単位認定評価方法 評価基準:相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他 学生の理解度等によって授業内容は変更になる場合がある。 講師について:安曇野市で「株式会社na ga me」を運営しながら映像クリエイターとして活動中。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィックデザイナー専攻	担当者	溝口・関		
科目名	マルチメディア	必修・選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	本授業では、絵本を題材としたモチーフ画制作と、修了制作展示会に向けた個人研究制作を通して、視覚表現に必要な発想力・構成力・表現力を身につけることを目標とする。				
◆概要	本授業では、視覚表現の基礎を学び、デザインとしての訴求力を高める。前半では、絵本の物語や雰囲気を読み取り、9コマのミニキャンバスに分割してモチーフ画を制作する。まる・さんかく・四角などのシンプルな図形を用い、少ない要素で印象を伝える表現方法を学ぶ。後半では、修了制作展示会に向け、各自がタイポグラフィ、色彩、ロゴなどデザインに関するテーマを設定し、調査・研究をもとに制作を進める。最終的に、作品の完成度と制作意図が伝わる展示表現を目指す。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	絵本9コマ課題：題材選び				
第2週	絵本9コマ課題：ラフ制作				
第3週	絵本9コマ課題：ラフ制作				
第4週	絵本9コマ課題：制作開始				
第5週	絵本9コマ課題：制作				
第6週	絵本9コマ課題：制作				
第7週	絵本9コマ課題：仕上げ				
第8週	中間試験週：課題提出				
第9週	修了制作展用 一人1研究課題 テーマぎめ				
第10週	修了制作展用 一人1研究課題 探求・レポート、制作など				
第11週	修了制作展用 一人1研究課題 探求・レポート、制作など				
第12週	修了制作展用 一人1研究課題 探求・レポート、制作など				

第13週	修了制作展用 一人1研究課題 探求・レポート、制作など
第14週	修了制作展用 一人1研究課題 探求・レポート、制作など
第15週	修了制作展用 展示準備
第16週	修了制作展用 展示準備
第17週	修了制作展 課題回収
第18週	
3. 履修上の注意	
修了制作展課題については、資材の購入について担当講師または担任に事前相談すること	
4. 使用教材（テキスト等）	
各自PC、筆記用具など基本的な授業に必要なものを準備	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと (http://designto.info/) 代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	溝口	
科目名	DTPデザイン演習		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	32コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	第1～3週までは企業連携に取り組む、デザイン基礎ではDTPデザインの基礎を、メニューデザインではDTPデザインの実技を、地元ポスターでは「知る」「調べる」「表現する」のデザイン考案・表現の基礎を実践し習得を目指します。前期修了作品：年賀状・メニューデザイン・地元ポスター				
◆概要	後期からは前期で学んだ基礎をベースに、パソコンを用いて実習形式で課題制作を行います。 各課題では「着想」「発案」「実技」の過程を実践的に学び、実社会で役立つ技術と、クリエイティブな着想・発想の基礎を学びます。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	企業連携課題				
第2週	企業連携課題				
第3週	企業連携課題				
第4週	デザイン基礎				
第5週	メニューデザイン				
第6週	メニューデザイン				
第7週	メニューデザイン				
第8週	メニューデザイン				
第9週	メニューデザイン				
第10週	メニューデザイン				
第11週	地元ポスター				
第12週	地元ポスター				
第13週	地元ポスター				

第14週	地元ポスター
第15週	地元ポスター
第16週	地元ポスター出力・パネル貼り
3. 履修上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・地元ポスター素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 ・地元ポスター制作に関する費用は各自負担となる。 ・アイデア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。 	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの]	
<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット用紙 ・カメラ等撮影機材 	
[個人で用意するもの]	
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートパソコン ・広告制作に関する素材費、取材費 	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと (http://designto.info/) 代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	全学科	担当者	栗田
科目名	総合演習 1	必修・選択	選択必修
単位数	1単位	授業形態	講義・演習
総授業数(予定)	20コマ	年次	1
		授業場所	教室・各実習室
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルールやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。		
◆概要	クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。		
2. 授業内容（週単位で記入）			
第1週 ～ 第38週	一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認 クラス、学校行事及び計画 等		
3. 履修上の注意			
出席時間数等は授業内で指示します。			
4. 使用教材（テキスト等）			
学生の手引き等			
5. 単位認定評価方法			
評価基準:絶対評価 出席時間、取り組みにより評価			
6. その他			

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

科目名	キャリアプランニング3		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	2年
総授業数(予定)	18コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	自分の適性をもとに、希望する業種・職種を再度考え、希望する職に就く。				
◆概要	電話対応・メール・エントリーシート提出、面接の再練習、企業情報の提供など、目標到達のためのサポートを行う。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	就活のすすめ方、企業・求人情報の確認、活動報告など提出書類について ポートフォリオについて、個別面談				
第2週	学生の就活とそのサポート、求人票の見方を確認、自己PR・志望動機確認 ポートフォリオの作成、個別面談				
第3週	応募から内定までの書類の準備と整え方 学生の就活とそのサポート				
第4週	ポートフォリオの作成 学生の就活とそのサポート				
第5週	ポートフォリオの作成 学生の就活とそのサポート				
第6週	ポートフォリオの作成 学生の就活とそのサポート				
第7週	作文(文字数・時間制限有) ポートフォリオの作成、学生の就活とそのサポート				
第8週	就職活動用作文(文字数・時間制限有) ポートフォリオの作成、学生の就活とそのサポート				
第9週	中間テスト				
第10週	就職活動用作文(文字数・時間制限有) 学生の就活とそのサポート				
第11週	手書きの礼状の書き方、ビジネスにふさわしい言葉遣い 学生の就活とそのサポート				
第12週	漢字・ペン字、ビジネスにふさわしい言葉遣い 学生の就活とそのサポート				
第13週	漢字・ペン字、ビジネスにふさわしい言葉遣い 学生の就活とそのサポート				
第14週	学生の就活とそのサポート				
第15週	学生の就活とそのサポート				

第16週	学生の就活とそのサポート
第17週	学生の就活とそのサポート
第18週	期末テスト（課題）
3. 履修上の注意	
筆記用具と就活手帳を持参	
4. 使用教材（テキスト等）	
就活手帳、プリント教材	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価 中間・期末テスト（課題）、授業態度、出席状況を総じて評価する 目標を持って自主的に就職活動を行った場合、高評価とする	
6. その他	
必要に応じてポートフォリオの作成時間、進捗状況確認の面談を設ける。就職活動において、報告連絡相談を徹底すること。就職活動の進み具合に合わせ、授業内容を入れ替えることがある。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科	担当者	関		
科目名	表現技法1	必修・選択(注記)	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業連携案件の実施・完遂 ・各設備を利用した作品制作・提出 				
◆概要	<p>レーザーカッターやカットプロッターなどを利用した作品制作を通し、設備の利用方法を理解する。 企業連携の取り組みが確定した場合は、順次時間変更などを実施する。</p>				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	企業連携: 説明会実施およびラフ案制作				
第2週	制作				
第3週	制作				
第4週	制作				
第5週	制作				
第6週	完成データ納品				
第7週	<p>カットプロッター、レーザーカッター、3Dプリンター、スリマッカなど各自でテーマを決め、作品制作に当たる。</p>				
第8週					
第9週					
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					

第14週
第15週
第16週
第17週
3. 履修上の注意 機材利用にあたっては指導講師の指示に従うこと。
4. 使用教材（テキスト等） パソコン プリント配布
5. 単位認定評価方法 評価基準：絶対評価 課題提出・仕上がりの評価65%、授業態度や欠席・遅刻など35%
6. その他

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	実務教養2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	生成AIに関する知識・ルール、使用上の注意を学習し、今後のクリエイター活動に役立てることができるようになる。				
◆概要	AI STUDIO様の教材を下に、以下のスケジュールで学習を進めていく。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	予備日				
第2週	AI STUDIO教材 問題解決の考え方を知ろう				
第3週	AI STUDIO教材 問題解決の考え方を知ろう				
第4週	AI STUDIO教材 問題を解決してみよう				
第5週	AI STUDIO教材 問題を解決してみよう				
第6週	AI STUDIO教材 ChatGPTの活用事例を体験				
第7週	AI STUDIO教材 ChatGPTの活用事例を体験				
第8週	中間試験週				
第9週	予備日				
第10週	AI STUDIO教材 ビジネスシーンで使える生成AI の活用方法				
第11週	AI STUDIO教材 ビジネスシーンで使える生成AI の活用方法				
第12週	AI STUDIO教材 ChatGPTを用いたプレゼンテーション作成				
第13週	AI STUDIO教材 ChatGPTを用いたプレゼンテーション作成				

第14週	AI STUDIO教材 イベント企画を生成AIを使って作ろう
第15週	AI STUDIO教材 イベント企画を生成AIを使って作ろう
第16週	課題制作
第17週	課題発表・課題提出
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
[学校側で用意するもの] ・レジュメ、板書資料、	
[個人で用意するもの] ・ノートパソコン、ノートなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:相対評価 各試験到達度および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	堀内 貴彦	
科目名	造形実習 1		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	手に触れられる素材をもとに正確に造形できる力をつける。 また、必要に応じて自分で素材や加工方法を考え、構想を形にできる力をつけることを目標とする。				
◆概要	スタンドグラスを作成することによりガラス加工の技術を習得する。また、各自のデザインで身の回りの素材を利用して造形物を作る				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	スタンドグラス制作 ○平面形状（サイズは指定）のスタンドグラス ○立体又はアクセサリサイズのスタンドグラス				
第2週					
第3週					
第4週					
第5週					
第6週					
第7週					
第8週					
第9週	各種素材等を利用し、他の科目と連携した造形物を制作する。 テーマ等は授業内で指示する。				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					
第14週					
第15週					
第16週					
第17週					
3. 履修上の注意					
工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、切り屑やハンダごてなどで服装を破損する可能性もある作業を行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。特にガラス加工時はケガに注意すること					
4. 使用教材（テキスト等）					
テキストなし。PC利用あり。					
5. 単位認定評価方法					
評価基準：絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。 評価 出席10% 課題評価90%					
6. その他					
授業内でできない作業等は放課後や家庭で進めること。					

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	関	
科目名	Webサイトデザイン2		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	5月末までは企業連携に対応した制作の時間とする。6月よりWebの授業開始。1年時より更に広くWebに関する知識・技術を学習する科目。jQueryの扱いやサーバーへのアクセス、CMSの設定やCMSでのサイト制作などを学びます。				
◆概要	1)1年次に制作した各自のサイトにjQueryを用いてスライドなどを作成し、レスポンシブ化して、レンタルサーバーにアップロードする。 2)CMS(コンテンツマネジメントシステム)を用いてWebサイトを制作。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	企業連携				
第2週	企業連携				
第3週	企業連携				
第4週	企業連携				
第5週	企業連携				
第6週	HTML/CSSの総復習				
第7週	HTML/CSSの総復習				
第8週	レスポンシブウェブデザイン				
第9週	レスポンシブウェブデザイン				
第10週	レスポンシブウェブデザイン				
第11週	Wordpress				
第12週	Wordpress				
第13週	Wordpress ポートフォリオサイト制作				

第14週	Wordpress ポートフォリオサイト制作
第15週	Wordpress
第16週	Wordpress
第17週	サイトアップロード
3. 履修上の注意	
・ 課題制作の表現に必要な資材は各自負担となる。	
4. 使用教材（テキスト等）	
配布するテキスト、Mac、1年時に使用したHTML+CSSのデータを使用	
5. 単位認定評価方法	
評価基準：相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科コード	C2
-------	----

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック		担当者	栗田／溝口	
科目名	メディアデザイン		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目	なし	実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	商品をPRするためのチラシ・広告制作に加え、実際に商品価値を高めるためのパッケージデザインを検証・考案し、簡易なパッケージであれば制作できるようになるまで学習する。なお、各種コンペティションへの参加を検討している。				
◆概要	毎週木曜日のパッケージデザインは、溝口先生よりデザインの方法を学び、他2コマはパッケージデザインの成り立ちや世の中のパッケージデザインの動向、実際の化粧箱の仕組みなどを学ぶ。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	パッケージデザインの種類と要素・技術 市場のパッケージデザインを学ぶ				
第2週	パッケージ観察・スケッチ1 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第3週	パッケージ観察・スケッチ2 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第4週	パッケージ観察・スケッチ3 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第5週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第6週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第7週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第8週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第9週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第10週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第11週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第12週	独自ブランドパッケージ				
第13週	独自ブランドパッケージ				
第14週	独自ブランドパッケージ				
第15週	独自ブランドパッケージ				
第16週	Adobe dimension				
第17週	Adobe dimension				

3. 履修上の注意

テキストを用いた座学は小テストなどを実施するので、配布プリントなどの管理を徹底すること。
なお、毎時間1つのパッケージデザイン組み立てを実習する。

4. 使用教材（テキスト等）

パッケージデザインの教科書第3版を配布。主には講師が配布するレジュメを確認。
リサーチなどが発生するのでMacなどを持参すること

5. 単位認定評価方法

評価基準：相対評価

制作物提出およびテストに関する評価70%、遅刻欠席に関する評価20%、授業姿勢に関する評価10%

6. その他

デザイン事務所でざいと（<http://designto.info/>）代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 コミックイラストレーター専攻	担当者	高橋
科目名	コミックイラスト演習	必修・選択	必修
単位数	3単位	授業形態	演習
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	302教室
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	コミックもしくはイラストレーションの制作を課題とする。初回に個別目標を設定し、以降それぞれの課題に向けて人物から背景まで幅広く表現し完成する力を身に着ける。最終的にはそれぞれの作品発表(イラストレーションは展示や作品集の制作、コミックはオリジナル作品集の入稿など)を目指す。		
◆概要	基礎描画力の向上を目指すため、授業の冒頭はクロッキーを行う。個別課題を設けた後は主にコミック制作とイラストレーション制作に分かれて個別に課題に取り組んでいく。コミックは指定に沿った4コマ漫画の制作から指定したテーマの8P漫画の制作へと段階的に取り組む。イラストは線画や着彩の技術を今一度さらい、商業的に求められる表現力の向上へと段階を深めていく。		
2. 授業内容 (週単位で記入)			
第1週	個別目標設定／クロッキー(以降毎時間行う) ビジネスマナー4コマ漫画制作／学生Tシャツデザインコンテスト応募作品制作		
第2週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:学生Tシャツデザインコンテスト応募作品制作		
第3週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:学生Tシャツデザインコンテスト応募作品制作／提出		
第4週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(人物)		
第5週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(人物)		
第6週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(背景・建物・シンボル等)		
第7週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作／提出 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(背景・建物・シンボル等)／提出		
第8週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(アイディア・プロット出し) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(アイディアスケッチ、構図決め)		
第9週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(プロット出し) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(構図・アイディア決定～下書き)		
第10週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(プロット～ネーム) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(下書き～清書)		
第11週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(ネーム) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(清書～カラー着彩)		
第12週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(ネーム～下書き) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(カラー着彩)		
第13週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(下書き～清書・ペン入れ) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(カラー着彩～仕上げ)		

第14週	コミック:テーマに沿った4P~8P漫画制作(ペン入れ)／以下夏休み中も進行のこと イラストレーション:タブローの提出／夏休み中課題(オリジナル作品集)ラフ・添削
第15週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(夏休み中の進捗確認・トーン) イラストレーション:夏休み中課題提出・添削／オリジナル作品集の制作・個人制作
第16週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(トーン・文字入れ) イラストレーション:オリジナル作品集の制作・個人制作
第17週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(仕上げ・印刷・製本) イラストレーション:オリジナル作品集の制作・個人制作
第18週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(製本)／提出 イラストレーション:オリジナル作品集の制作・個人制作／提出
3. 履修上の注意	
デジタル・アナログ、どちらの技法でも構わない。また、制作過程でMacの使用がある。 講師より個人にコンペやイベントなどの出品を勧める場合がある。その場合はシラバス通りの授業進行ではない。シラバスはあくまでも一例として参考にする事。	
4. 使用教材(テキスト等)	
[学校側で用意するもの] クロッキー帳、鉛筆(8B)、用紙等 [個人で用意するもの] 画材、Mac等。都度指示する。	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:絶対評価 制作物提出および課題に関する評価70%、遅刻・欠席に対する評価15%、授業姿勢に関する評価15%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	溝口	
科目名	ブランディング		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・MDMのロゴマーク制作・小冊子制作を通してデザイン技術と表現方法の向上を図る。 ・Indesignによる冊子デザインの方法を学ぶ。 ・JAGDA学生グランプリに応募し、入選・入賞を目指す。 				
◆概要	<p>パソコンやタブレット端末の普及で、情報を伝えるためだけのチラシやPOP制作は専門知識がなくてもそれなりに作れる時代になっています。そんな中必要とされているのが、人の脳を刺激し興味を惹き付ける表現やブランド価値を高めるためのアイデアです。この科目ではグラフィックデザインの基礎技術向上と、アイデアと表現方法について学び、その成果物を各種コンペや校外展示に出品します。</p>				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	ロゴマークデザインとは (仮想店舗・仮想ブランドの設定・ラフ制作)				
第2週	ロゴマークデザイン (仮想店舗・仮想ブランドの設定・ラフ制作)				
第3週	ロゴマークデザイン				
第4週	ロゴマークデザイン				
第5週	JAGDA学生グランプリ				
第6週	JAGDA学生グランプリ				
第7週	JAGDA学生グランプリ				
第8週	JAGDA学生グランプリ				
第9週	JAGDA学生グランプリ				
第10週	JAGDA学生グランプリ				
第11週	JAGDA学生グランプリ				
第12週	JAGDA学生グランプリ				
第13週	Indesign				

第14週	PONY制作
第15週	PONY制作
第16週	PONY制作
第17週	PONY制作
第18週	PONY制作
3. 履修上の注意 ・アイデア出して授業外に課題を行う必要がある。 ・コンペ作品制作課題にて表現に必要な資材は各自負担となる。 ・冊子制作の際の取材に関する費用は各自負担となる。	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] ・コンペ応募用台紙 ・各種外注出力 ・作品台紙用ケント紙 ・カメラ等撮影機材 [個人で用意するもの] ・ノートパソコン ・コンペ作品制作作用資材 ・冊子制作に関する資材・取材費	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他 デザイン事務所でざいんと(http://designto.info/)代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	栗田・溝口	
科目名	プロジェクト演習1		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標 コラボ授業 パティシエブーランジェ学科との商品企画販売					
◆概要 コラボ授業:クリエイティブの学生がブランディングを企画し、パティシエの学生さんはその店舗企画に該当する菓子を考案する。					
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	コラボ授業:企画制作				
第2週	コラボ授業:制作				
第3週	コラボ授業:制作				
第4週	コラボ授業:制作				
第5週	コラボ授業:制作				
第6週	コラボ授業:制作				
第7週	コラボ授業:制作				
第8週	コラボ授業:制作				
第9週	コラボ授業:制作				
第10週	コラボ授業:制作				
第11週	コラボ授業:制作				
第12週	コラボ授業:制作				
第13週	コラボ授業:制作				

第14週	コラボ授業:制作
第15週	コラボ授業:制作
第16週	コラボ授業:制作
第17週	コラボ授業:制作
第18週	コラボ授業:校外店舗にて展示販売予定
3. 履修上の注意	
店舗見学など外出の機会が多くなるが、就活生としても恥ずかしくない行動を取ること	
4. 使用教材（テキスト等）	
Macなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいと(http://designto.info/)代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	栗田他	
科目名	卒業制作1～4		必修・選択	必修	
単位数	8単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	120コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	2年間の集大成として、最終日の展示に向け制作を進める				
◆概要	第6週までは他教科の補助的時間とする。公開日終了後より、溝口先生サポートのもと、今年度のテーマを決定し、企画書を制作する。企画が通った段階で12/1より制作開始となる。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第2週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第3週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第4週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第5週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第6週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第7週	卒業制作テーマぎめ				
第8週	卒業制作企画書立案				
第9週	卒業制作企画書審査・終了				
第10週	卒業制作・製作開始				
第11週	卒業制作・製作開始				
第12週	卒業制作・製作開始				
第13週	卒業制作・製作開始				

第14週	卒業制作・製作開始
第15週	卒業制作・製作開始
第16週	卒業制作・製作開始
第17週	卒業制作・製作開始
第18週	校内にて展示会実施
3. 履修上の注意	
制作に必要なものは各自購入する。レシートを持参すれば制作費用から返金する。	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac、その他各自で準備したもの	
5. 単位認定評価方法	
評価基準：相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと（ http://design.to.info/ ）代表。主に県内にてグラフィックデザイナーとして活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水
科目名	業務演習1		必修・選択(注記)	選択必修
単位数	1単位	授業形態	演習	年次 2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期 後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要				
◆到達目標	ビジネス著作権検定初級合格			
◆概要	現代社会では、情報の受発信が容易になる一方で、著作権に関する正しい理解と適切な活用に関する知識が必須である。授業を通して、(1)著作権に関する基礎的な知識、(2)著作権法および関連する法令に関する基礎的な知識、(3)インターネットに関連する著作権および情報モラルについての基礎的な知識などを学習する。ビジネス著作権検定初級合格を目指す。			
2. 授業内容 (週単位で記入)				
第1週	検定対策			
第2週	検定対策			
第3週	検定対策			
第4週	検定対策			
第5週	検定対策			
第6週	検定対策			
第7週	検定対策			
第8週	検定対策			
第9週	期末試験(検定受験)			
3. 履修上の注意				
検定合格のために、自主的に取り組むこと。				
4. 使用教材 (テキスト等)				
パソコン				
プリント配布 (検定問題解答方法、模擬問題)				
5. 単位認定評価方法				

評価基準:絶対評価

授業態度 20%、期末試験 40%、検定合格 40%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	関・栗田	
科目名	デザイン演習		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	IllustratorやPhotoshopについて更に技術を向上させる また、後半は検定対策として2種類の検定対策の時間を設ける				
◆概要	前半火曜日:学校公開日用の絵本制作、前半木曜日:就職活動 後期火曜日:DTP検定対策、後期木曜日:Webクリエイター能力認定試験対策				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	チラシリメイク 検定対策				
第2週	チラシリメイク 検定対策				
第3週	チラシリメイク 検定対策				
第4週	チラシリメイク 検定対策				
第5週	チラシリメイク 検定対策				
第6週	チラシリメイク 検定対策				
第7週	チラシリメイク 検定対策				
第8週	チラシリメイク 検定対策				
第9週	チラシリメイク 検定対策				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					

第14週	
第15週	
第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック		担当者	関/栗田	
科目名	表現技法2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	IllustratorやPhotoshopについて更に技術を向上させる				
◆概要	チラシのリメイクを行うことで、IllustratorやPhotoshopなどのソフトについて技術力向上を目指し、他のデザインを見ながらより伝わりやすいデザインの模索を行うことでデザインのアイデア力・表現力を磨く				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	チラシリメイク				
第2週	チラシリメイク				
第3週	チラシリメイク				
第4週	チラシリメイク				
第5週	チラシリメイク				
第6週	チラシリメイク				
第7週	チラシリメイク				
第8週	チラシリメイク				
第9週	チラシリメイク				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					
第14週					
第15週					
第16週					
第17週					
第18週					
3. 履修上の注意					
特になし					
4. 使用教材 (テキスト等)					
Mac					
5. 単位認定評価方法					
評価基準: 相対評価					
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%					
6. その他					

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水・栗田	
科目名	業務演習1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	これまでの取得・未取得の検定について、再チャレンジの機会とする。また新しくビジネス著作権検定について全員受験とする。				
◆概要	就職後に求められるスキルの向上のため、各自で目標を設定し検定対策・受験を行う				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	目標検定設定				
第2週	検定対策				
第3週	検定対策				
第4週	検定対策				
第5週	検定対策				
第6週	検定対策				
第7週	検定対策				
第8週	検定対策				
第9週	期末試験(検定受験)				
3. 履修上の注意					
個々に設定した目標達成のためにしっかりと取り組むこと。各時間活動報告書を提出する。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。					
4. 使用教材 (テキスト等)					
パソコン					
プリント配布 (検定問題解答方法、模擬問題)					
5. 単位認定評価方法					
評価基準:絶対評価					
授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20%					
ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。					
6. その他					

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科		担当者	堀内 貴彦	
科目名	造形実習 2		必修・選択	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数(予定)	18コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	手に触れられる素材をもとに正確に造形できる力をつける。 また、必要に応じて自分で素材や加工方法を考え、構想を形にできる力をつけることを目標とする。				
◆概要	他の科目と連携し、造形物のデザインを考え、手に触れられる素材をもとに正確に造形できる力をつける。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	テーマや題材は授業内で指示 各自がデザイン、設計等より制作を進める。				
第2週					
第3週					
第4週					
第5週					
第6週					
第7週					
第8週					
第9週					
3. 履修上の注意					
工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、切り屑やハンダごてなどで服装を破損する可能性もある作業を行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。特にガラス加工時はケガに注意すること					
4. 使用教材(テキスト等)					
テキストなし。PC利用あり。					
5. 単位認定評価方法					
評価基準：絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。 評価は課題評価による。 評価 出席10% 課題評価90%					
6. その他					
授業内でできない作業等は放課後や家庭で進めること。					

学科 ＜専攻＞	クリエイトデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	プロジェクト演習2		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	企業連携または他学科・学校イベントから依頼された制作物の作成				
◆概要	学校公開日や企業連携の課題制作に取り組むこととする				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	企業連携				
第2週	企業連携				
第3週	企業連携				
第4週	企業連携				
第5週	学校公開日イベント企画・制作・準備				
第6週	学校公開日イベント企画・制作・準備				
第7週	各種検定対策				
第8週	各種検定対策				
第9週	各種検定対策				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					

第14週	
第15週	
第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	全学科	担当者	栗田
科目名	総合演習 2	必修・選択	選択必修
単位数	1単位	授業形態	講義・演習
総授業数(予定)	20コマ	年次	2
企業連携科目		授業場所	教室・各実習室
		前・後期	前後期
企業連携科目 実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルールやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。		
◆概要	クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。		
2. 授業内容（週単位で記入）			
第1週 ～ 第38週	一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認 クラス、学校行事及び計画 等		
3. 履修上の注意			
出席時間数等は授業内で指示します。			
4. 使用教材（テキスト等）			
学生の手引き等			
5. 単位認定評価方法			
評価基準:絶対評価 出席時間、取り組みにより評価			
6. その他			

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。